

★交通事故から生命を守る運動 死亡事故を追放しよう

全世帯にチラシを配付

交通事故、とくに死亡事故を追放しよう、「交通事故から生命を守る運動推進協議会」が、さる十一月十二日、交通会館で開かれ

ました。
会には、南国市、高知市、交通安全協会南国支部、安全運転管理者協議会、南国警察署をはじめ、市内小、中、高校、PTAなど市内の関係団体代表ら約六十人が出席。それぞれの職場や地域で、これから年末に向けて、徹底的な安全運動を集めていくことを決めた。

南国警察管内（高知市介良、大津を含む）の交通事故は件数、負傷者とも昨年よりやや減る傾向にあるものの、逆に死亡事故は九月末ですでに九件発生、昨年は三件オーバーしています。そこで南国署ではさる九月、「交通死亡事故抑止緊急事態宣言」をして強力な指導取り締まりを行って、これ以降、死亡事故は発生していませんが、県下的には続発しており、「交通事故から県民の命を守る運動」が展開されているところから、



市民一人ひとりが一体となって死亡事故防止を進めていこうと、この会が開かれたものです。
まず、小笠原市長が「統発する交通事故も、ちよつとした心がけによって防げるものがたくさんある。それぞれの立場で、みなさんのご協力をお願いします」とあいさつ。岩村南国警察署長から、交通事故の現状報告があったあと、市公営環境課より今後の取り組みについて提案があり、参加者全員

で協議に入りました。
この結果、次のような十八項目の具体的な運動が決められました。
○道路などの危険箇所、安全施設の総点検。
○事業所を訪問して安全運転を徹底。
○各事業所の玄関に「交通事故から命を守るよう」の横断幕。
○歩道橋に横断幕。
○有線放送などを利用して愛の一声運動。
○広報車による広報活動。
○横断歩道の横断幕を補充。
○立て看板の設置。
○「交通三悪追放宣言の家」と書いたチラシを全世帯に配付。
○通学路のストップマークの再点検。

○各保育所、小、中学校などの交通指導担当者会を開催、指導体制を整える。
○老人教室の開催（自転車の正しい乗り方など）
○クリップパー（衣服につける反射鏡）のあつせん。
○職場の安全指導。とくに、通園通学、通勤時。
○街頭指導。才二、才四月曜日の学校安全日と二十日の交通安全の日）

○三悪追放、安全運転の指導。
これから、あわただしい年末年始を向え、ドライバーの気もゆるみがちになります。一人ひとりが十分気をつけて、死亡事故はもちろぬ、交通事故をなくすようご協力をお願いします。

チャリティークリスマス ダンスパーティー

日時：十二月十六日（木）
午後六時～九時

場所：大塚地区公民館
料金：三百円

クリスマスも近づき今年も残り少なくなりました。
ダンス教室では去年につづき、ダンスパーティーを今年も開くことになりました。冬の一日をみんなでダンスを楽しみながら過ごしませんか。今年の最後のよい思い出となるように……。
会場は暖房完備、駐車場もあります。なお、土足厳禁です。上履を持参してください。



ダンス教室

市の電話 応答遅い理由

市役所の電話交換は、現在専任職員で交換作業を行なっています。ところが、交換機一台へ十五の局線と百五十の内線が入っているため、この交換機に同時に二回線以上かかってきた場合、一回線ずつしか応答処理できない構造になっております。

例えば、五人の市民の方から同時にかけつけて、一人を十秒で処理した場合でも、五人目の市民の方には四十秒もかかることになり、その四十秒の間は呼び出し音が鳴っていますが、交換機が忙し過ぎるという現象が生じることになります。市民の方は、呼び出し音が十回以上鳴っても交換機が忙し過ぎる場合は、電話をかけた直後などの処置をとるようにして下さい。

また、市役所へお聞きになりましたことは要点を考えて、交換に言うて下さい。交換が担当の職場へ電話をつないでくれます。

このような理由ですので、市民のみなさまも充分理解していただき、ご協力くださるようお願いいたします。

管理課

商工会青年部の提案

山地勝洋（商工会青年部長）

南国市の商店街が衰退するような気配を感じます。かと言って、仕事が少ないために優秀な青年経営者が市外へ流出することは残念なことです。私たちの南国市を住みよい豊かな市にしたいので、南

国市商工会青年部より、次のようなお願いがあります。
樹木はその根本に葉を落して養分を還元します。南国経済にとり、最大の栄養である購買を他所に落したら、やがて南国経済は枯れて

ゆくでしょう。そこで、公共機関は率先して、買物や工事を地元で発注できるように、私たちが指導して頂きたいと思えます。
地元で買ってもらうように、また工事発注をしてもらうように商工会青年部は努力をします。ただし、自分たちの欠点はわかり難いものです。南国市の工業者よ、こう改めたほうが良い」とアドバイスをして頂けたら幸いです。

市民の愛にはぐくまれて、南国市の工業を発展の軌道に乗せたいと思えます。
市民のみなさんも、南国経済の将来を思い、購置や工事発注はできるだけ地元をご利用頂きたいお願いいたします。
連絡先は——
南国市大塚甲一六三五一四
南国市商工会青年部
☎(4)3073 商工会事務局

善意の箱

田村の北村真一さんから、亡くなられた息子さん、洋通さんの香典返しを社会福祉のために役立ててほしいと、このほど、現金五十五万円が社会福祉協議会に届けられました。

どうもありがとうございます。
また、市土曜市組合（石本貫一組合長）は、さる十一月八日、清風園と土佐希望の家を慰問し、「きんかん」の苗木や運営費の一部に現金などを贈りました。

土曜市組合の組合員は現在九十二人、発足当時からみんなが売り上げの一部をもちより、福祉施設を慰問するなどの活動をしています。毎年続けられている両施設への慰問は今年で八回目、今回はそれぞれに現金一万円、清風園に苗木三千本が贈られました。



綱引き、みかんむき競争や、パン食い競争、二人三脚などのゲームを楽しむ母子供たち。あいくの寒風の中、南国市母子家庭連合会（久万富太会長）主催の南国市母子家庭運動会が、十二月二十一日後免野田小学校グラウンドで行われましたが、お菓子や学用品などの賞品も用意され、母子供が最高に楽しい一日を過ごしました。



恒例の大塚女学院バザーが今年も十一月二十日、二十一日の両日、後免町の会場で開かれました。開場の午前十時には長い行列ができ、また値段も手ごろで、既製品と比べると品質はるかに良いとあつてなかなかの好評。他に用

